

嵩山小学校
6年1組
名前

ピアノの調律師

どんなプロフェッショナルになりたいか

ぼくが、どんなプロフェッショナルになりたいかというと、みんなに尊敬されるようなプロフェッショナルになりたいです。だから早めに将来の夢を決めてその仕事のプロフェッショナルになれるために、たくさん努力をして、みなにたよられるプロフェッショナルになり頑張っていきたいです。

仕事の一日

ピアノの調律や保守管理を専門に行う仕事です。

調律師は、ピアノ技術者、ピアノ製造技師などとも言われているそうです。ピアノの調律以外にも、メカニックの調整やピアノの整音などということもやるそうです。一般家庭や、音楽教室、音楽ホールなどピアノが設置されている部屋での出張作業が多いが、修理や修復作業を行う者も多いそうです。

調律師になるために



ピアノ調律師には、ピアノ調律技能士という国家資格があるが、経験者の技術を認定するもので、持っているなくても就職はできます。未経験からピアノメーカーや会社販売、調律専門会社などに就職して、現場で基礎から仕事を教わる事も可能です。

感想

僕は、この学習で、ピアノの調律が、どういう仕事がよくわかりました。僕の父がピアノの調律師で大体は知っていました。けれどちゃんと調べてみると、知らないことがたくさんあって、もっと詳しく知れたので、よかったです。父の仕事の大変さもわかりました。だから他の仕事でも興味があったら調べて早めに将来どの職業に就くか、就くためにはどうすればよいかなど考えていきたいです。